

## 引当金 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 当期末に行う予定であった修繕を翌期に行うことになったため、決算時に修繕引当金¥400,000を計上することにした。
2. 建物の修繕を行い、代金¥500,000を小切手を振り出して支払った。なお、この修繕のために修繕引当金¥400,000が設定されている。
3. 建物の修繕を行い、代金¥900,000を小切手を振り出して支払った。なお、このうち¥200,000は建物に対する資本的支出であり、また、当該修繕のために修繕引当金¥800,000が設定されている。
4. 3年後に行う予定の建物の大修繕に備えて、特別修繕引当金を設定する。当期の繰入額は¥700,000である。
5. 決算にあたり、商品保証引当金を¥170,000設定する。
6. 前期に販売した商品に対して修理の申し出があったので、修理業者に修理を依頼し、代金¥140,000を現金で支払った。なお、前期の決算において¥170,000の商品保証引当金を計上している。
7. 決算にあたり、当期の退職給付引当金繰入額¥230,000を計上する。
8. 従業員の退職にともない、退職金¥1,800,000を小切手を振り出して支払った。なお、この従業員に対して設定されている退職給付引当金残高は¥1,500,000であった。
9. 決算にあたり、当期末の退職給付引当金が¥4,200,000になるよう退職給付引当金を繰り入れる。なお、決算整理前の退職給付引当金残高は¥3,900,000である。
10. 従業員の退職にともない、退職金¥2,500,000を小切手を振り出して支払った。なお、この従業員に対して設定されている退職給付引当金残高は¥2,400,000であった。

## 引当金 第2問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	修繕引当金繰入	400,000	修繕引当金	400,000
2	修繕引当金 修繕費	400,000 100,000	当座預金	500,000
3	建物 修繕引当金	200,000 700,000	当座預金	900,000
4	特別修繕引当金繰入	700,000	特別修繕引当金	700,000
5	商品保証引当金繰入	170,000	商品保証引当金	170,000
6	商品保証引当金	140,000	現金	140,000
7	退職給付費用	230,000	退職給付引当金	230,000
8	退職給付引当金 退職給付費用	1,500,000 300,000	当座預金	1,800,000
9	退職給付費用	300,000	退職給付引当金	300,000
10	退職給付引当金 退職給付費用	2,400,000 100,000	当座預金	2,500,000